

失語症リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1・2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 田村 至 tamurait@hoku-iryo-u.ac.jp 若松千裕

【概要】

失語症にかかわる検査法、解析法、治療法を学ぶ。

【学修目標】

一般目標：失語症治療に関する高度な知識を学ぶ。

行動目標：

1. 失語症の障害メカニズムについて説明できる。
2. 臨床症例で失語症の解析法を列挙できる。
3. 失語症の治療法について説明できる。
4. 失語症の治療研究を説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|------|-------------------|---------------------------------------|------|
| 1～7 | 失語症の理論と治療について | 失語症の症状、タイプ分類、評価法、訓練プログラムの立案、治療法について学ぶ | 田村 至 |
| 8～15 | 失語症の障害機構と治療理論、研究法 | 失語症の障害メカニズムに基づいた治療理論、研究法について学ぶ。 | 若松千裕 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート50%、平常点50%

【教科書】

指定しない

【学修の準備】

1. 失語症の基礎知識について文献を読む。（80分）
2. 講義の内容に関して、復習する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

田村 至、若松千裕（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。